

背景・目的

アスター「プリリアン」シリーズは大輪で市場性が高い上、露地栽培も可能であり、旭川青果物生産出荷協議会花卉部会においても導入を検討していますが、日長など条件が異なる府県産地の事例以外の情報が乏しいことから、当地での栽培特性について検討しました。

結果




・供試品種：「プリリアン」シリーズの「プリリアン EX ブルー」「プリリアン パープル」「プリリアン レッド」（タキイ種苗株）
（以下「EX ブルー」「パープル」「レッド」と表記します。）

作型と採花時期			8/7	8/10	8/15	8/20
ハウス	4月19日 定植	EX ブルー	_____			
		パープル		_____		
		レッド	_____			
	4月26日 定植	EX ブルー			_____	
		パープル				
		レッド	_____			
5月17日 定植	EX ブルー				_____	
	パープル					
	レッド			_____		
露地	5月10日 定植	EX ブルー				
		パープル			_____	
		レッド				_____
	5月24日 定植	EX ブルー				
		パープル				_____
		レッド			_____	

：採花始（採花数が全体の10%に達した日）

：採花期（採花数が全体の50%に達した日）（採花始と採花期が同日の場合は、採花期のみ図示）

・特性及び課題と対策

	EX ブルー	パープル	レッド
<p>品種</p> <p>（写真はハウス4月19日定植作型）</p>			
切り花の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・最も花径が大きい ・曲がりが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・切り花長が長い 	<ul style="list-style-type: none"> ・側枝数及び花蕾数が多い ・切り花長が長い
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・頂花が咲いてから他の花蕾が咲くまで時間がかかり、頂花が老化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・採花日数が長いため、露地で病害虫発生のリスクが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス作型で灰色かび病による枯死株が多い ・露地作型で曲がりが多い
課題への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・頂花摘蕾（ピンチ）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・露地での防除の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・古い下葉の摘葉 ・支柱の強度を上げる（露地） ・フラワーネットの適期管理

結果の活かし方

アスターの開花には日長が大きく関係しており、生育日数だけで採花期を予測することが難しいため、本調査の結果を定植時期の参考にしてください。また、品種ごとの特長や課題及び推奨する対策が異なるため、品種に合わせた栽培管理を選択してください。